

1%の原発推進者をぶっ飛ばせ!



今月5日、ギリシャで青年を中心に10万人のゼネストが爆発!



「我々は99%だ」「エジプトに続け」と訴え、米ウォール街を占拠する青年たち。その闘いは今や全米、全世界に拡大しようとしている。

10・21

福島大行動へ!



10日、福島でNAZEN(すべての原発ただちになくそう! 全国会議)結成集会が350人の結集で闘われました。

福島から大学を問う 10・21全国学生集会

10月21日(金)昼から
福島大学キャンパスにて

みなさん。いま世界中で労働者や青年・学生が生きがための闘いに立ちあがっています。

ウォール街ではいま若者が、1%の資本家らによって職も未来も奪われている現状に対して怒りの占拠闘争に立ちあがっています。

ギリシャでも財政破綻を口実にした労働者への大量首切りに対して10万人が怒りのゼネラルストライキに決起しています。

そして10月10日、福島では反原発集会が350人の結集で行われ、原発への怒りが大爆発しました!

これらの行動は、根っこは一緒の問題です。原発も失業も、作りだしているのは同じ1%の資本家であり、政府です。こういう連中に私たちの未来が奪われているのです!

私たちは今こそ、世界中の仲間たちとともに「1%」の原発推進者・資本家や御用学者に対して大学から怒りの声をあげようではありませんか。

10月21日に行われる福島大行動へ、すべての皆さんへの結集を訴えます。

福島大一年生のアピール!

こんにちは。福島大学の一年生です。

今年から福島大学は、日本原子力開発機構(JAEA)と連携協定を結んでおります。共同での研究内容は、福島の汚染地域の除染技術や復興のための技術の研究とされていますが、私は原子力を推進しようとする機関との共同研究、協定の内容にある「人材の交流」「人材の育成」という内容を見ると、自身や家族、福島県民全体にこれだけの影響を与えた今回の事故を忘れ、これからの原子力政策を容認してしまうような考えに誘導されてしまうのではないかと不安に思います。

人の命を軽視し、目先の経済活動の事だけを考え、原発を正当化する考えを植え付けるような教育は受けたくありません。また、そのような教育方針の大学を放っておくことはできません。自ら意見を発して、大学を変えることができるのは、学生しかいません。共に私たちに理不尽な考えを押し付けようとする大学、人々の未来を奪う政策と闘いましょう。10月21日たくさんの仲間が福島大学に集まっていただけを楽しみにしております。

全学連

全日本学生自治会総連合(斎藤郁真委員長)

TEL 050-3036-6464 mail_cn001@zengakuren.jp http://www.zengakuren.jp/

フクシマの怒り爆発！

NAZEN結成集会では、「子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク」から佐藤幸子さんと椎名千恵子さんが発言。佐藤さんは、「フクシマは日本政府が落とした三度目の原爆だ。誰も御用学者の言うことは本当だと思っていないが、不安で信じるしかない。放射能は見えないが、敵もそれよりも大きな見えない力で結びついている。私たちが結びつこう！」と激しく訴えました。椎名さんは、「子どもたちの命がかかっている。もう拳は下げない！」と決意を訴えました。酪農家の鈴木光一郎さんは、「この結成を一番喜んでるのは福島の農民だ」と連帯あいさつを述べました。教育現場の声を代表して、相馬市で働く高校の先生が、「今教師が立ち上がらなかつたら、この国の教育は戦前と同じになってしまう」と使命感をもって発言。フクシマの怒りはさらに広く大きく燃え上がっています。

大学から原発をとめよう！ 10・21福島大学闘争～11・6集会へ！

そして今、この「フクシマの怒り」を抑え込むのに必死になっているのが大学です。福島で「放射能は安全」なるキャンペーンを行う山下俊一ら御用学者連中を私たち学生の力で大学から叩き出そう！

この10月は、京都大学や法政大学など全国の大学で「フクシマ連帯」を掲げて多くの行動が取り組まれます。10月21日には福島大学で全国学生集会を行います。

そして、11・6労働者総決起集会は、日本全国から闘う労働組合や学生、農民、市民が集まり、この社会の力関係を根本から変えるための集会です。アメリカでは、「ウォール街を占拠せよ！」を合言葉に、青年・学生が立ちあがっています。時代は私たち学生の決起を求めています。私たち自身の闘う運動を復権させ、カネ儲けばかりが優先されるこの社会を根本から変えよう！

被曝労働許さない！ 動労水戸がストライキに決起！

野田政権は9月30日、「放射能安全キャンペーン」と一体で、広野町など福島県内5市町村を対象とした「緊急時避難準備区域」指定を解除しました。それを受けてJR東日本が広野駅までの営業運転再開を宣言。さらにJR東日本は、震災から半年以上広野駅に放置されていた電車を勝田車両センターに持ってきて検修を行い、運転に使うことを決定しました。広野駅の放射線量は毎時6μシーベルト(年間約50ミリシーベルト!)であり、そこに半年放置されていた電車を使うというのだ！

福島民友に動労水戸のストライキが紹介されました！(10/8付)

JR水戸支社に除染要望
JR常磐線久ノ浜～広野駅間が10日に運行再開することに関連し、国鉄水戸動力車労働組合(動労水戸)は7日、JR水戸支社に駅の除染などを求める要望書を提出したと発表した。石井真一執行委員長らがいわき市で記者会見し説明。3日には13項目の要望を出し、8日には勝田車両センター(茨城県)に勤務する11人の組合員がストを行うという。

動労水戸との団体交渉でJR東日本は、「国が安全を確認したから、JRとして対策をとる必要はない」と言い張り、「放射線量の測定もやらない」と主張。これに対して10月8日、動労水戸はストに決起しました。しかしJR東日本は10月9日、その車両を勝田車両センターに回送し、センターのすぐ隣の児童公園で子どもたちが遊んでいる横で汚れた車両の水洗を強行。水と共に放射能が飛び散り、大変危険なのは誰の目にも明らかではないか！動労水戸の組合員は、子どもたちを避難させ、その暴挙を徹底弾劾。さらに、13日の検修業務に対してすでにストライキを宣言し、その準備に入っています。

JR東はこの緊急闘争を、「違法なストライキだ」として告発しようとしています。絶対に許せない。被曝労働を許さず、乗客の安全を守り、フクシマ棄民政策を打ち砕く動労水戸のストライキに連帯しよう！11・6労働者総決起集会へ！

→次は11月6日(日)正午、日比谷野外音楽堂だ！

反原発×反失業！全国労働者集会

すべての原発を停止・廃炉に！

新自由主義と闘う労働組合のネットワークを！

解雇撤回－非正規職撤廃！

呼びかけ 全日本建設運輸連帯労働組合関西地区生コン支部 / 全国金属機械労働組合港合同 / 国鉄千葉動力車労働組合 http://www.geocities.jp/nov_rally/



写真：9.19反原発デモでの学生の隊列